

企画展

関東大震災100年。

「100年前と今。
都市における大災害に備えよう！」

2023.9.1~2024.1.28

会場：
人と防災未来センター
西館2階 防災未来ギャラリー（有料ゾーン）

協力：
国立科学博物館、東京大学 渡邊英徳
東京都復興記念館

主催：
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

同じ？
それとも違ひ？

1923.9.1

関東大震災

マグニチュード(M) **7.9**

長さ約130Km、幅約70Kmの
震源断層域

1995.1.17

阪神・淡路大震災

マグニチュード(M) **7.3**

長さ約60Km、幅約20Kmの
震源断層域

20XX.?

南海トラフ巨大地震？
首都直下地震？



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

100年前に起きた関東大震災がどのような災害だったのかを伝えるとともに、関東大震災と阪神・淡路大震災を比較した展示等を通じて、今後起こりうる大災害に備えて心がけるべきことを考える機会とします。

企画展 関東大震災100年。

「100年前と今。」

都市における大災害に備えよう!

1995.1.17 ◀ ▶ 1923.9.1

2023.9.1~2024.1.28

阪神・淡路大震災

関東大震災



住宅の倒壊 芦屋市 所蔵：資料室

阪神・淡路大震災でも戸建て住宅の一階部分の倒壊が多くあった。



赤坂倒壊家屋

所蔵：国立科学博物館、カラー化：東京大学 渡邊英徳

写真では戸建ての住宅が軒並み倒れた様子が伺える。

●揺れ
震源域直上の神奈川県、千葉県南部を中心に、広域が震度6以上の揺れに見舞われ、建物とそして人身に大きな被害が出た。

大正十二年九月一日、午前十一時五十八分、突如烈震が帝都を襲った。日本史上最大の被害を出した関東大震災の発生。



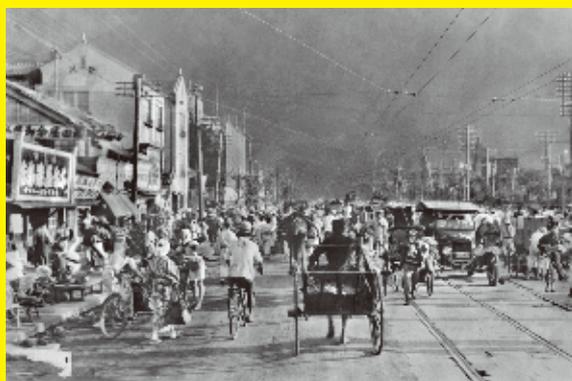
1995.1.17 午前7時ころ

所蔵：資料室

阪神・淡路大震災でも地震直後から複数の火災が発生。水源の確保ができず消火活動が難航した。

●大火災の発生
直後から同時多発で火災が発生。昼食時であり、当時の炊事に使われていたかまど・七輪などから多く出火。延焼を止められず、折からの強風によりどんどん広がった。

上野黒門町付近の避難民。奥の神田方面は黒煙が空を覆う
所蔵：東京都復興記念館



旋風 所蔵：東京都復興記念館

●火災旋風
火災の際に炎の風下に発生するという旋風（つむじ風、小規模な竜巻状渦巻き）。炎を含む火柱状になることもあるという。この時、東京、横浜ともに多数が発生し、多くの死者が出た。



宮城前広場の避難群衆 所蔵：東京都復興記念館

地震の揺れから逃れた人が道に溢れ、開けた場所に溜まり始める。その群衆を火災が襲い、大きな被害につながった。リヤカーなどで家財道具を持ち出したことも災いした。



今歳、大震災が起きる時に備えて、後々が心掛けるべきこと

●次の巨大災害では何が起こるのか？

『都市災害の被害激増は「相転移」が原因』当センター長河田恵昭氏へのインタビューに基づく情報を公開しています。これからの備えに繋げましょう。

神戸市長田 所蔵：資料室

阪神・淡路大震災でも、地域一帯が焼け野原となった。ただし延焼面積は大きく異なる。



丸の内付近の焼跡
出典：関東震災畫報 第一輯 大阪毎日新聞社 発行

●広域を消失
当時の「東京市」は面積の4割強が焼け野原となった。横浜市は市街地全域を消失した。

ご来場にあたっては、詳しい情報をご確認ください。

公式サイト <https://www.dri.ne.jp/> 特設サイト <https://hitobou.com/>

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 西館5階
TEL ; 078-262-5502 FAX ; 078-262-5509 mail ; event@hitobou.com